8．外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準
　外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
9．国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法
⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法
　近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。
⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率
　日本相互証券が公表している第306回国債の平成22年３月31日の利回り終値1.395％を参考に計算しております。
10．リース取引の会計処理
　リース料総額が３百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
11．消費税等の会計処理
　消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によります。
12．財務諸表の表示単位
　財務諸表は、千円未満を切捨てにより作成しております。
　なお、利益の処分に関する書類については、円単位で表示しております。
＜追加情報＞
　当事業年度より、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」（「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」の改訂について」（国立大学法人会計基準等検討会議　平成21年７月28日））及び「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針」（文部科学省、日本公認会計士協会　平成22年３月24日最終改訂）を適用しております。
Ⅱ．注記事項
1．貸借対照表関係

運営費交付金から充当されるべき賞与見積額	1,086,814千円
運営費交付金から充当されるべき退職給付見積額	15,114,577千円

2．キャッシュ・フロー計算書関係
⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	10,994,943千円
定期預金等	△　1,860,000千円
資金期末残高	9,134,943千円

⑵　重要な非資金取引
①　寄附による資産の取得

工具器具備品	1,490,603千円
図書	2,189千円
美術品	38,100千円
ソフトウェア	1,254千円
建設仮勘定	5,647千円
投資有価証券	800,139千円
有価証券	587,235千円
長期貸付金	109,350千円
	3,034,519千円

②　ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品	393,290千円

3．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち国からの出向職員に係る額	838千円

4．減損損失関係
⑴　大岡山宿舎ＣＡ
①　減損の兆候が認められた固定資産の概要
　用途：職員宿舎
　種類：建物、及び建物附属設備
　場所：東京都目黒区大岡山２―10
　期首帳簿価格：1,262千円（建物０千円、建物附属設備1,262千円）
②　減損の兆候の概要
　固定資産が使用されている業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。
③　減損の認識に至らない根拠
　現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。
⑵　大岡山宿舎ＣＣ
①　減損の兆候が認められた固定資産の概要
　用途：職員宿舎
　種類：建物、及び建物附属設備
　場所：東京都目黒区大岡山２―10
　期首帳簿価格：1,962千円（建物０千円、建物附属設備1,962千円）
②　減損の兆候の概要
　固定資産が使用されている業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。
③　減損の認識に至らない根拠
　現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。
⑶　藤が丘寮
①　減損の兆候が認められた固定資産の概要
　用途：職員宿舎
　種類：建物、及び建物附属設備
　場所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘２丁目41番21
　期首帳簿価格：42,058千円（建物38,992千円、建物附属設備3,066千円）
②　減損の兆候の概要
　固定資産が使用されている業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。
③　減損の認識に至らない根拠
　現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。
⑷　生田住宅４
①　減損の兆候が認められた固定資産の概要
　用途：職員宿舎
　種類：建物、及び建物附属設備
　場所：神奈川県川崎市多摩区三田１丁目３番１
　期首帳簿価格：11,918千円（建物8,300千円、建物附属設備3,617千円）
②　減損の兆候の概要
　固定資産が使用されている業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。
③　減損の認識に至らない根拠
　現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。